

産業標準化推進月間事業

標準化と 品質管理

中部地区大会 2023

経済産業省では毎年10月を「産業標準化推進月間」と定め、各地方経済産業局とともに、全国的に産業標準化の普及・啓発に関する各種の行事を展開しています。その結果として、各組織に標準化が定着し、技術の向上や生産の効率化に大きな成果をあげてまいりました。「標準化と品質管理 中部地区大会」はこの普及活動の一環として、経済産業省 中部経済産業局、及び関係団体のご支援のもと、本年度は裏面のプログラムにて開催いたします。JIS認証組織やISO登録組織の方々はもとより、標準化と品質管理を推進しようとする企業の方々のご参加をお待ち申し上げます。

10月13日(金) 13:00~16:40

今池ガスホール (今池ガスビル 9F)

主催： 一般財団法人 日本規格協会 名古屋支部
中部標準化懇話会

後援： 経済産業省 中部経済産業局
独立行政法人 製品評価技術基盤機構
JIS 登録認証機関協議会

お申し込みされた方は、後日、全国大会の講演および地区大会のJIS登録認証機関協議会の、講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。

プログラム

13:00-13:10 開会挨拶

13:10-13:20 日本規格協会グループの活動と新たな取り組み

日本規格協会ソリューションズ株式会社
代表取締役社長 武濤 雄一郎

講演

13:20-14:10 「日本型標準加速化モデル」の実現に向けて(仮)
経済産業省

グローバル市場の変化を踏まえ、日本の標準化活動も、経営戦略と一体的かつ能動的に取り組むことが重要となっており、そのために官民の各主体がどのような経営上/政策上の工夫を講じていくべきか考える必要があります。そのカギとなる、今日的な標準化の効果・効能について、本年6月に日本産業標準調査会基本政策部会が取りまとめた「日本型標準加速化モデル」を用いながらご紹介します。

14:10-14:20

休憩

特別講演

14:20-15:10

事例で学ぶ品質コンプライアンス
～不正を引き起こす4つのオーバーと
止められない3つのバッドを徹底排除～
株式会社小林経営研究所 代表取締役
小林 久貴

品質不正が後を絶たない状況が続いています。実はこれらの不正を発生させてしまった組織に共通する現象があります。それは、不正を引き起こす4つのオーバーと止められない3つのバッドの存在です。これらを徹底排除することが再発防止、未然防止の前提条件となります。本講演では、事例を交えながら4つのオーバーと3つのバッドについて解説します。うちの会社は大丈夫だろうと考えているとすると、それは大変危険です。

15:10-15:20

休憩

講演

15:20-16:30

JISマーク表示制度
～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～
JIS登録認証機関協議会
一般財団法人日本塗料検査協会 性能評価部
JIS認証業務室 部長代理 櫻井 剛

コロナ禍の3年を通じて新たなる社会システムの構築が模索されています。一方、企業の品質不祥事は依然として発生しています。JISマーク表示制度においても長年の運用による信頼性に加え、DX化等の効率化や、より信頼性の向上を図る改善が求められています。最新の運用状況や登録認証機関協議会(JISCBA)の取り組みをご紹介しますとともに、審査での不適合事例及び品質管理のよい事例を紹介します。

16:30-16:40

閉会挨拶

中部標準化懇話会

報文集は紙での提供をいたしません。必要な方はダウンロード・印刷してご持参ください。

一般申込

11,000円(税込)

維持会員の方

ご加入1口につき1名様

無料

※8月上旬頃にご招待のご案内をいたします。

口数以上のお申込

5,500円(税込) / 1名様

会場

今池ガスホール(今池ガスビル9F)

名古屋市中種区今池一丁目8番8号

アクセス



- 地下鉄東山線・桜通線 ————— 「今池駅」10番出口直結
- J R中央本線 ————— 「千種駅」より東へ徒歩約10分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日にちまでにお振込ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

お申込はWEBで

SQ 大会 2023

検索

<https://www.jsa.or.jp/>